



流域パートナーシップ の意義

福井県立大学
菊沢 正裕

今日伝えたい事

- 流域の様々な団体がパートナーシップを組み、行政とともに流域を保全し**豊かな湖沼環境**をつくろう！
 1. 目的の違う、あるいは利害関係のある団体が**連携**(パートナーシップ)する
 2. パートナーシップの範囲を**流域**に広げる
 3. プラス思考の交流を行えば、問題解決とともに**新しい何か**が生まれる

話の内容

- **流域パートナーシップがなぜ必要か(意義)**
 1. 湖沼環境は流域全体で考える総合問題
 2. 行政や住民単独の活動では解決しない
 3. 交流はプラス思考を生む
- **流域パートナーシップをつくるために(形成)**
 1. 構築のポイント
 2. 成功の秘訣
 3. 具体例



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

3

(1) 流域パートナーシップがなぜ必要か！

1. 湖沼環境は流域全体で考える総合問題
2. 行政や住民単独の活動では解決しない
3. 交流はプラス思考を生む



kikusawa,M

4

1. 湖沼の環境保全は流域全体で考える総合問題

- **対象範囲は広い**
 - 汚濁やゴミの排出源が様々で広範囲にある
 - 排出源が特定しづらい
 - 複数の自治体や行政区にまたがる
- **様々な問題を総合的に解決する必要がある**
 - ゴミ, 水質汚濁, 汚染
 - 景観, 土地利用
 - 自然資源管理

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

5

2. 行政や住民単独の活動では解決しない

1. 問題が複雑で, 行政だけ, あるいは単独の組織や団体では総合的な解決が難しい
2. 環境問題は最近の問題で行政の**経験**が乏しい上に, **縦割り**で対応できない
3. 行政がトップダウンでやる時代から, **地域住民と協議**し, 協働してやる時代

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

6

3. 交流はプラス思考を生む(1/2)

- 流域の**関係者はいろいろ**
 - 同じ被害者でも住民と漁業者では目的が違う
 - 排出者はさまざま(産業や個人)
 - 汚染や汚濁等の因果関係が明確でない
 - 排出者の責任意識の程度も違う
- 利害団体の活動からは**敵対や不満**しか生まれない

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

7

3. 交流はプラス思考を生む(2/2)

- 環境問題の原因を**利害関係者が一緒に**探る
- 小さな環境行動者集団が交流
- 交流の中で**問題を理解し**、ともに解決を図る
- 交流の中から**プラス思考**が生まれる



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

8

(2) 流域パートナーシップをつくるために

1. 構築のポイント
2. 運営の秘訣
3. 具体例

柿澤宏昭:流域保全を巡る
パートナーシップ,
朝倉書店, 2002, 参照



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

9

構築のポイント(1) 構成

- パートナシップは、行政と住民のパートナーシップだけではない
- 既成の枠組みをこえた横のつながり
- 多様なパートナーシップが流域を単位として織りなすネットワーク

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

10

構築のポイント(2) 運営

- 総合的,複合的な取り組み
- 多分野の専門家の協力
- 地域住民(自治会)の協力



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

11

ラムサール条約決議の背景

(村上 悟, 湖沼会議市民ネット 2001年6月より引用)

- 賢明な利用を目指す上で**地域住民は特に重要**である
- **情報公開**が必要である
- 湿地の管理者として**地域住民の参加**が必要である
- **地域住民は伝統的な管理技術**の知識をもっている
- **地域住民の需要**を知り,湿地の社会経済的価値に関する知見を得る調査が不可欠である

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

12

当該湖沼でも住民による協議会が活動

- 河北潟自然再生協議会(2002)
- 柴山潟流域環境保全対策協議会(柴山潟浄化推進協議会, 2003)
- こまつ環境パートナーシップ(木場潟再生プロジェクト, 2005)
- ハスプロジェクト推進協議会(三方五湖, 2005)
- あわら市エコ市民会議(2010)

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

13

構築のポイント(3) 姿勢

- 行政
 - 専門的, 財政的, 事業的支援
 - 縦割り縄張り意識を排し, **部課横断**の対応
- 住民
 - 小さな活動団体をつなぐ
 - 村単位の活動ではなく, **湖沼を愛する者**としての活動
 - 交流のなかで個別問題を理解し, 解決方法を**学ぶ**

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

14

パートナーシップ活動 成功の秘訣(1)

環境被害

大 →

小 →

原因不明

→

×

原因追求

→

原因判明

→

解決可能

原因判明

↘

解決不可 ×



kikusawa,M 湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010 15

パートナーシップ活動 成功の秘訣(2)

- **多様な参加者**(老若男女, 職業, 地域)
- **フラットなネットワーク**(団体がつながる)
- **責任意識**(仲間の中でリーダーを変える)
- **他を知る**(リーダー同じで仲間を変える)
- **行政とのパートナーシップもカギ**

kikusawa,M 湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010 16

行政とNPOのパートナーシップ 成功の秘訣(3)

- 行政とNPOのパートナーシップ
 - 行政による施策の実施(トップダウン)と住民やNPOによる制度的障害の打破(ボトムアップ)
 - NPO(ハイリスク・ローコスト)と行政(ローリスク・ハイコスト)の使い分け
- 理屈通りにいかない
 - は, 市長次第, あるいはNPOの規模と経験
 - は, 行政担当者がNPOに浸透し、信頼関係のなかでNPO的行動と行政的行動を統制する

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

17

パートナーシップ活動 成功の秘訣(4)

- 利害を超え, 参加する楽しみ
- 仲間と学ぶ喜び, 知る喜び
- 達成感(企画事業, 発表など)
- 何かを生み出すお得感
 - ✓ ブランド
 - ✓ 新ビジネス
 - ✓ エコタウン



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

18

具体例: あわら市エコ市民会議が...

- 「北潟湖プロジェクト」をつくり, 次の関係者や団体代表で構成する
 - 湖沼環境に**関心の高いヒト**: 漁業者, 付近の住民, 湖沼を楽しむ人...
 - **排出源関係者**: 農林畜産業, 工業, 飲食業・旅館, 個人...
 - 問題解決のための**専門家**: 行政, 土木・植林関係, 法律などの専門家
 - **教育関係者**: 学校, 環境教育NPO...

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

19

まずは, 北潟湖の水質調査を始める

1. 中南部の汚濁が大
 - より詳細に調査して流入箇所を見出す
2. 教育団体による調査
 - 北潟小学校の先生や生徒と住民, 農業者...
 - 調査法を学び, 実際に計測し, 報告会を開く



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

20

そして…

3. 汚染源の判明

- 詳細に調査して流入個所を見出す
- 地下水を通してA農地からNがでている

4. 問題解決

- 漁業, 畜産, 農業, 消費者が利害関係ではなく, 仲間として解決策を考える
- 行政や専門家と一緒にプラス思考で考える

5. ニュービジネスへと進展

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

21

河北潟水質一斉調査

第5回河北潟水質一斉調査 結果

[CODの結果](#) [NO2の結果](#) [NO3の結果](#) [透視度の結果](#)

参考 2005年の [COD](#) [NO2](#) [NO3](#) [透視度](#)

11月23日(木)9:00~ こなん水辺公園にて

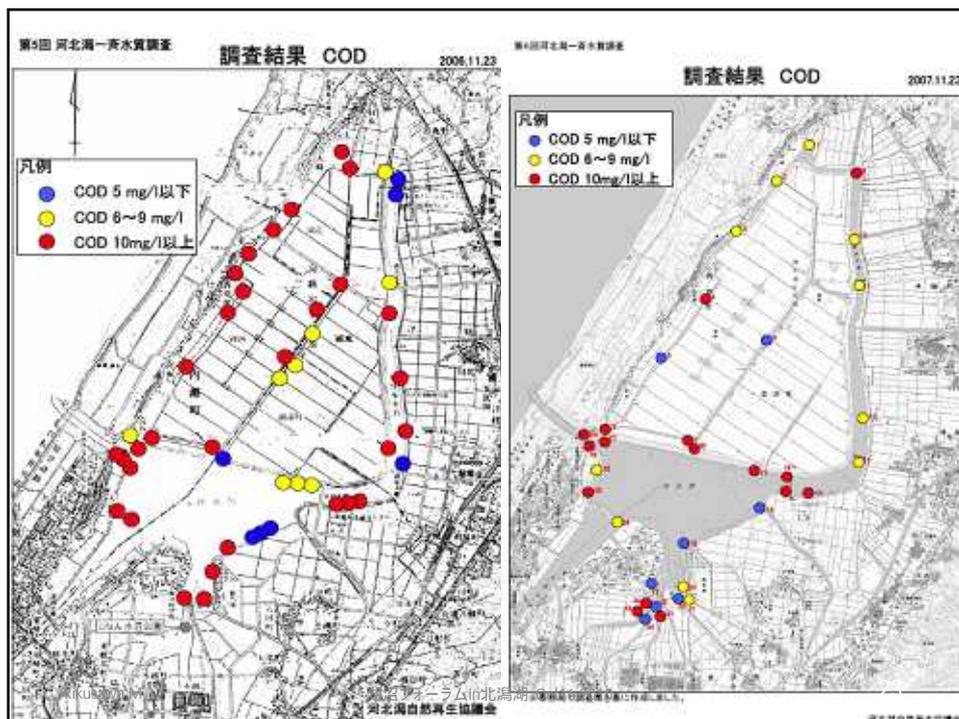
かほく市宇ノ島小学校 内灘町立藤ヶ丘小学校 内灘町立大根布小学校 金沢市立大浦小学校 金沢市立泉野小学校から小学生約40人の参加がありました。



kikusawa,M

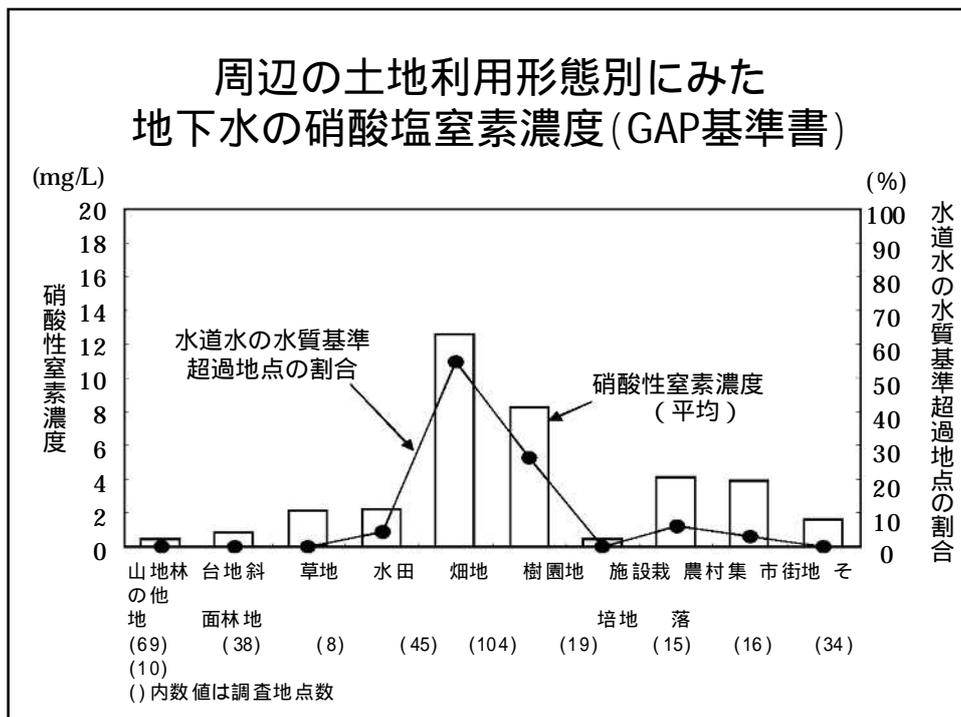
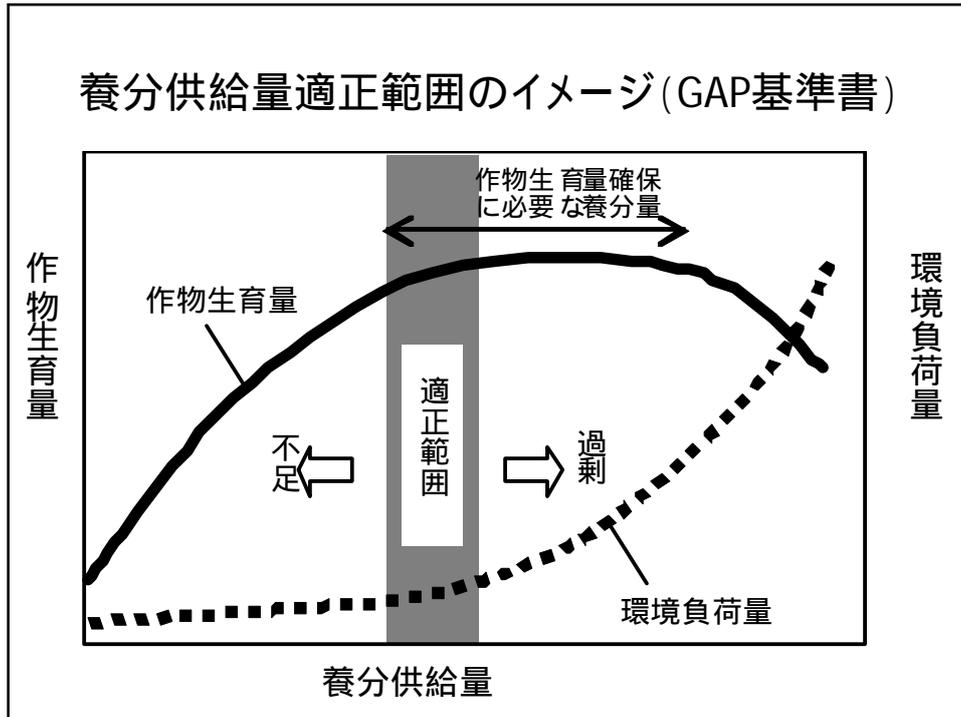
湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

22



このあと

農業者を含むパートナーシップの
 会で次のようなことを**学習**して、
 どうすればよいかを**議論**する
 ことが大事！



学びの交流が希望を生みだす！

- **学習コミュニティをつくる**
 - 汚濁の意味や, 調査法の原理を学ぶ
 - 皆なで調査する, 報告する, 比較する, お茶する...
- **ニュービジネスを生む**
 - 農畜産と漁業の連携(餌や肥料)
 - 1次産業の製品の加工から販売(6次産業)
 - 地産地消や, 全国ブランドの発信
- **交流が深まりパートナーシップが進化する**

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

27

まとめ

- **流域パートナーシップがなぜ必要か**
 - 湖沼環境は流域全体で考える総合問題
 - 行政や住民単独の活動では解決しない
 - 交流はプラス思考を生む
- **流域パートナーシップをつくるために**
 - 構築のポイント
 - 活動を成功させる秘訣
 - 北潟湖を対象に具体例



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

28

ご清聴有難うございました。



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

29

パネル討議

流域パートナーシップを考える
～ 湖沼環境の保全に向けて～

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

30

パネリスト

1. **松下 奏** (まつした すすむ) 氏
－ 柴山潟流域環境保全対策協議会・会長
2. **田辺 義郎** (たなべ よしろう) 氏
－ コミュニティビジネス団体「ラ・しじみ」代表
3. **組頭 五十夫** (くみがしら いそお) 氏
－ 福井県自然観察指導員の会・会長
4. **徳丸 敏郎** (とくまる としろう) 氏
－ あわら市市民生活課・課長、エコ市民会議事務局

kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

31

フォーラムへのご参加
有難うございました。



kikusawa,M

湖沼フォーラムin北潟湖 Oct16,2010

32